

と き しら 土器について調べよう

「土器」とは、ねん土をこねて器の形にした焼きものです。日本で最初の土器は「縄文土器」と呼ばれ、今から1万年以上も前に作られました。その後、米作りが始まった2千5百年前ころからは、「弥生土器」と呼ばれる新しい土器が作られるようになりました。

じょうもん 縄文土器 (第1展示室)

つぎの縄文土器をさがし出して、それぞれがどのくらいむかしに作られたものかを調べよう!



上の土器は、どのように用いられたと思いますか?

やよい 弥生土器 (第1展示室)

弥生土器をひとつ選んでスケッチしよう

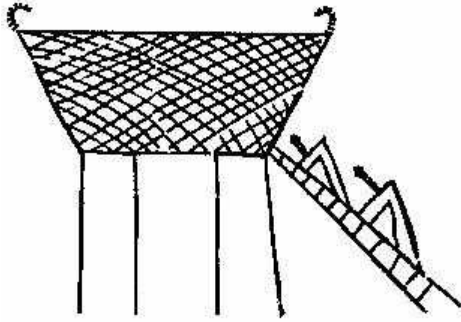
あなたがスケッチした弥生土器は、次の中のどれでしたか? (○で囲もう)

つぼ ・ かめ ・ たかつき

土器を使うようになって、人々の生活はどのように変わったと思いますか?

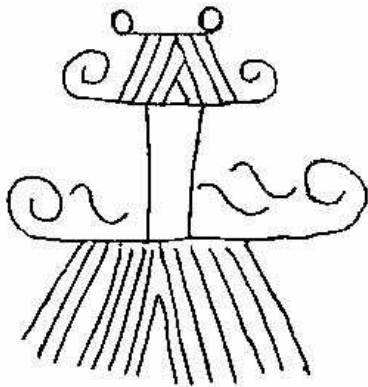
かいか

絵画がえがかれた土器をさがしてみよう！（第1展示室）



左の絵画にえがかれた建物を何といいますか？

この建物の中には何を入っていたと思いますか？



左の絵画は何をえがいたものでしょうか？

この絵画がえがかれた土器は、奈良県の何という遺跡で見つかりましたか？

今から1700年ぐらい前には「古墳」と呼ばれる大きな墓がつくられるようになり、これ以降、土器を作る新たな技術が大陸から伝えられました。

すえき はじき
須恵器と土師器

（第2展示室・第3展示室） 須恵器と土師器とを比べてみよう！

須恵器

- () 色のものが多い。
- それまでの土器よりもかたくて、水もれしにくい。
- 作り方は () 半島から来た「渡来人」によって伝えられた。

土師器

- () 色のものが多い。
- (縄文 ・ 弥生) 土器ににている。（←どちらかを○で囲もう）

☆土器についてもっと知りたい人は「映像（ビデオ）ライブラリー」にも行ってみよう！

「分野」 → 「古代の技術」 → 「古代の土器」の順番に画面にタッチ